

モニタリング結果報告書 (令和6年度)

1. 施設概要

施設名	七沢森林公园		
所在地	厚木市七沢・上古沢・小野		
サイトURL	https://www.kanagawa-park.or.jp/nanasawa/		
根拠条例	神奈川県都市公園条例(昭和32年神奈川県条例第7号)		
設置目的(設置時期)	公共の福祉の増進(昭和63年4月)		
指定管理者名	公益財団法人神奈川県公園協会		
指定期間	R4.4.1～R9.3.31 (2022年) (2027年)	施設所管課 (事務所)	都市公園課 (厚木土木事務所)

2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応			
利用状況の評価はC、利用者の満足度の評価はS、収支状況の評価はBで、3項目評価はBとした。			
利用者数は、令和5年度よりわずかに減少となった。収支状況も利用者の減少に伴い、駐車場、自動販売機の収入も下がり、さらに光熱費、労務費等の高騰による支出の増加も重なり収支の差額がマイナスであった。利用者満足度の評価は極めて良好となった。			
結果として、利用者が減少するとともに収支の差額がマイナスとなり、3項目評価はAからBに下がった。周辺観光施設の衰退、公園施設の老朽化などハード面の要因や光熱費、労務費等の高騰による支出の増加もあり、指定管理者だけの原因とは言えないが、公園管理の基本となる着実・丁寧な植物管理や施設管理等の取組を継続しつつ、これまで以上に地域との連携を強化するなどの対策の検討を積極的に行う必要がある。			
<各項目の詳細説明>			
◆管理運営等の状況			
七沢森林公园は、市街地に近いが、森林の中をゆっくり散策できる緑豊かな里山公園である。多くの種類のシャクナゲが咲く「シャクナゲ園」、工芸体験ができる「森のアトリエ」、バーベキューが楽しめる「ピクニック広場」、イベントの会場としても利用される「森の民話館」が人気の施設である。「資源循環型管理の実施」として、公園の間伐材を、土留柵の材料に用いている他、間伐材を炭焼窯で焼き、バーベキューの燃料として100%まかない、落葉はシャクナゲ園の肥料として活用するなど、この公園独自の工夫を行っている。また、地域と連携したイベントを開催している点、落葉掻き等の努力によりヤマビル被害の軽減に努めている点が評価できる。			
◆利用状況			
利用状況は目的達成率84.7%で昨年度のB評価からC評価に下がった。指定管理者は、利用者の利便性・安全性に配慮した取り組みを続け、各種イベントを開催しサービス向上に努めたが、夏期の猛暑により上半年の利用者数が伸びず、下半期では12月、1月にやや持ち直し令和5年度を上回ったものの、結果として前年をわずかに下回るとともに目標値の達成には至らなかった。周辺観光施設の衰退や公園施設の老朽化などハード面の要因もあり、指定管理者だけの原因ではないが、これまで以上に地域との連携を強化するなどの対策の検討を積極的に行う必要がある。			
◆利用者の満足度			
5月と11月に調査を実施し、上位2段階の回答割合が96.8%となつたためS評価となった。施設の魅力向上のため、施設管理を精力的に行っており、利用者の満足度が高い。			
◆収支状況			
令和6年度の収支比率は96.57%で昨年度のA評価からB評価に下がった。指定管理者は経費節減などに努めたが、利用者減少に伴う駐車場、自動販売機の収入の減少、光熱費、労務費等の高騰による支出の増加により収支の差額がマイナスであった。利用者の減少は、周辺観光施設の衰退や公園施設の老朽化などハード面の要因もあり、指定管理者だけの原因ではないが、これまで以上に地域との連携を強化するなどの対策の検討を積極的に行う必要がある。			
◆苦情・要望等			
周辺住民からの草木の繁茂、害虫の発生に伴う苦情要望は、当公園の特色である自然豊かな森林公园特有のもので、猛暑による植物の成長状態が異常となったことも要因と考えられる。一方、施設の利用者からの苦情・要望がほぼないことは特筆すべきものであり、指定管理者が利用者の視点に立った管理運営を日ごろから心がけ、業務を実施していることが伺われる。			
◆事故・不祥事等			
事故・不祥事等はない。			
◆労働環境の確保に係る取組状況			
県による監査、労働基準監督署からの指摘事項はない。			

◆その他

令和6年度の3項目評価についてはB評価とした。利用者の減少は周辺観光施設の衰退、公園施設の老朽化などハード面の要因や光熱費、労務費等の高騰による支出の増加もあり、指定管理者だけの課題ではないが、公園管理の基本となる着実・丁寧な植物管理や施設管理等の取組を継続しつつ、これまで以上に地域との連携を強化するなど対策の検討を積極的に行うことを望む。

3. 3項目評価の結果

3項目評価	利用状況 (項目6参照)	利用者の満足度 (項目7参照)	収支状況 (項目8参照)	3項目評価とは、3つの項目(利用状況、利用者の満足度、収支状況)の評価結果をもとに行う評価をいう。 S:極めて良好 A:良好 B:一部改善が必要 C:抜本的な改善が必要
B	C	S	B	S:極めて良好 A:良好 B:一部改善が必要 C:抜本的な改善が必要

4. 定期・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	なし	
現地調査等 の実施状況	実施頻度	現地調査等の内容
	毎月実施	指定管理者から提出された書類の記載内容と現地の状況を照合した結果、適切に指定管理業務等が履行されていることを確認した。
意見交換等 の実施状況	実施頻度	意見交換等の内容
	毎月実施	県と指定管理者の間で、施設の老朽化、シカやイノシシなどの野生動物の被害の現状や今後の対策方法、施設管理の課題などについて意見交換した。
随時モニタリングにおける 指導・改善勧告等の有無	有・無	指導・改善勧告等の内容

5. 管理運営等の状況

[指定管理業務]

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関するコメント
神奈川県の「未病改善宣言」に賛同し、具体的に取組む ・「未病改善宣言」への賛同、協力、及び公園の施設を活かした健康づくりに関する取組みの実施	・公園の特性に応じた健康推進イベントの開催 ①(毎月第2日曜日)森林セラピービーク ウォーク(参加者31名) ②(毎月第3日曜日)ノルディック ウォーキング(参加者25名) ・散策路、広場などの維持管理やヤマビル対策の実施 ③森林セラピービーク(6月13日)(参加者15名)	公園の特性を活かした健康づくりイベントの開催について、継続的かつ積極的な取り組みを望む。
自然の中で健康づくりをサポート ・心と体の健康づくりサポートプログラムの展開、安全安心で快適な空間づくりの実施		
資源循環型管理のモデルとなる植物管理 ・園内の間伐材や落ち葉等を木材や炭、肥料等として活用	・樹林地の間伐や危険木の伐採等により発生した材で、炭窯を活用し木炭や木酢液を生産し、木炭はバーベキューの燃料として、木酢液はコケの駆除に活用した。また、製材した間伐材を案内板や土留め柵に素材として活用した。 ・落ち葉は肥料化施設に搬入し熟成させ、花苗、シャクナゲの肥料として活用した。	本公園の大半を占める樹林地において適切な管理を行い、そこで発生した間伐材を有効活用できるよう工夫をこらした管理を行っている。
年間を通じて賑わう公園づくり ・季節ごとに特色のあるイベントの実施	・「ななさわ緑の祭り」(参加者1500人)、七沢観光協会との共催の「第45回あつぎ七沢森のまつり」(参加者10,000人)を開催した。 木工講座など年間を通じたイベントやミニ門松づくり、落ち葉かき体験と焼きいもづくりなどの季節感のあるイベントを開催した。	公園の多様な魅力を知つていただく機会となるイベントの開催について、継続的かつ積極的な取り組みを望む。

[参考：自主事業]

事業計画の主な内容	実施状況等
バーベキュー場の運営	計画どおり実施した。 令和6年度実績 利用者数 4,594 人
陶芸教室 陶芸・楽焼体験	計画どおり実施した。 令和6年度実績 参加者数 2,311 人
カレンダー事業	計画どおり実施した。

6. 利用状況

評価	《評価の目安》 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 ※施設の特性から利用状況の評価を行わない場合は「目標値の設定根拠」欄に当該理由を、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）を記載してください（女性自立支援施設と県営住宅等が該当）。
C	

	前々年度	前年度	令和 6 年度
利用者数※	228,750	211,667	210,857
対前年度比		92.5%	99.6%
目標 値	247,000	248,000	249,000
目標達成率	92.6%	85.3%	84.7%

目標値の設定根拠： 提案書記載目標値

利用者数の算出方法（対象）： 駐車台数から推計

※原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

<備考>
利用状況は目的達成率84.7%で昨年度のB評価からC評価に下がった。指定管理者は、利用者の利便性・安全性に配慮した取り組みを続け、各種イベントを開催しサービス向上に努めたが、夏期の猛暑により上半期の利用者数が伸びず、下半期では12月、1月にやや持ち直し令和5年度を上回ったものの、結果として前年をわずかに下回るとともに目標値の達成には至らなかった。

7. 利用者の満足度

評価	《評価の目安》 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う。
S	

満足度調査の実施内容	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
	指定管理者による簡易アンケートは通年、詳細アンケートは2回実施	協定に定めた年間2回を5/19、11/3に実施した。 上位二段階の回答割合は昨年度とほぼ変わらないが、「満足」と回答した人の割合が約4ポイント減少した。また、「どちらかといえば不満」という回答の原因是指定管理についてではなく県による施設整備、改修によるもの。

[サービス内容の総合的評価]

質問内容 公園の運営管理状況を総合的に見るといかがでしたか？

実施した調査の配布方法 対面式アンケート 回収数／配布数 124 / 125 = 99.2%

配布(サンプル)対象 公園利用者

	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
サービス内容の総合的評価の回答数	87	33	2	2	0	124	いつもきれいにしていて、気持ちよく利用できる。
回答率	70.2%	26.6%	1.6%	1.6%	0.0%		
前年度の回答数	85	28	0	1	0	114	
前年度回答率	74.6%	24.6%	0.0%	0.9%			
回答率の対前年度比	94%	108%		184%			

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

<備考>

5月と11月に調査を実施し、上位2段階の回答割合が96.8%となったためS評価となった。施設の魅力向上のため、施設管理を精力的に行っており、利用者の満足度が高い。

8. 収支状況

評価	《評価の目安：収支差額の当初予算額が0円の施設》 収入合計／支出合計の比率が、S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
B	

[指定管理業務]

(単位:千円)

		収入の状況					支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入の主な内訳	収入合計		支出	収支差額
前々年度	当初予算	78,150		4,680	駐車場3,621 自販機1,059	82,830	82,830	0	
	決算	78,150		4,016	駐車場3,319 自販機 697	82,166	81,377	789	100.97%
前年度	当初予算	78,150		4,680	駐車場3,621 自販機1,059	82,830	82,830	0	
	決算	78,418		3,445	駐車場2,735 自販機 710	81,863	81,771	92	100.11%
令和6年度	当初予算	78,286		4,680	駐車場3,621 自販機1,059	82,966	82,966	0	
	決算	78,286		3,301	駐車場2,651 自販機 650	81,587	84,486	-2,899	96.57%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数

(単位:千円)

令和6年度 /

前年度 /

前々年度 /

<備考>

令和6年度の収支比率は96.57%で昨年度のA評価からB評価に下がった。指定管理者は経費節減などに努めたが、利用者減少に伴う駐車場、自動販売機の収入の減少、光熱費、労務費等の高騰による支出の増加により収支の差額がマイナスであった。

9. 苦情・要望等 該当なし

分野	報告件数		概要	対応状況
施設・設備	件		草刈り機械の運転方法	利用者対応時はエンジン停止するなどの配慮を徹底周知
	件			
職員対応	来園	1	件	利用者対応時はエンジン停止するなどの配慮を徹底周知
	件			
事業内容	件		敷地境界付近の草木などの繁茂、虫の発生、落葉堆積	現地にて適切かつ迅速に対応
	件			
その他	電話	8	件	現地にて適切かつ迅速に対応
	件			

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

10. 事故・不祥事等 該当なし

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
	① ② ③ ④ ⑤ ⑥

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事について改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

11. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。